

芸術表現と経験

14:00 開会挨拶

研究発表①:画技を競う—17世紀イタリアにおける共同制作—
倉持充希

研究発表②:生きるための美学—インスタレーションと美的経験—
山下晃平

(休憩)

研究発表③:「事実」を分解する—1960年前後の記録映画運動—
田中晋平

研究発表④:創作の美学—美の判断、意味と理由—
宇野文夫

(休憩)

全体討論

17:15 閉会挨拶

司会:赤井敏夫(神戸学院大学教授)

コメンテーター:水谷勇(神戸学院大学教授)

本研究会は、哲学と芸術を巡って研鑽を積み認識を深めていく場としてこの度発足いたしました。今回は、神戸学院大学人文学部哲学・芸術コース(2027年度発足)に所属する教員が、各自の進めてきた研究を紹介するとともに、「芸術表現と経験」をテーマに議論致します。

生成AIやデジタルメディアの普及により、創作活動や鑑賞のあり方も大きく変化し、芸術を経験するとはどういうことかがいま改めて問われています。美の判断や経験、共同制作、現実の記録といった問題を手がかりに、芸術が人と世界をどのように結びつけ、意味や価値を生み出していくのかを考えます。

2026年8月2日(日)

14:00-17:15

13:30開場 / 参加費無料 / 申込不要

**KOBE Co CREATION
CENTER
ROOM (A・B)**

登壇者プロフィール

倉持充希 (神戸学院大学准教授)

専門は西洋美術史。とくに17世紀フランス・イタリアで描かれた絵画作品に関する調査研究を行っている。分担執筆に「17世紀イタリアにおける「地上の楽園」の表象」(『ポスト印象派とユートピア』三元社、2025年)。論文に「ニコラ・プッサンによる「アルカディア」の表象」『京都美術史学』第3号など。

山下晃平 (神戸学院大学講師)

専門は展覧会史、日常美学。展覧会史と日常美学との交叉を通して、芸術表現の美的価値や鑑賞体験の変容について研究している。著書に『日本国際美術展と戦後美術史 その変遷と「美術」制度を読み解く』創元社、2017年。論文に「流れる「今」をあじわう—アートプロジェクトによる日常経験の変容—」『a+a 美学研究』第16号など。

田中晋平 (神戸学院大学准教授)

専門は映像学、美学。戦後日本のドキュメンタリー映画史を研究、映像メディアと社会運動の連携に関する調査を進める。共編著に『カメラマン瀬川順一と日本ドキュメンタリー映画史』アテネ・フランセ文化センター、2026年。論文に「野田真吉と松本俊夫：1960年代末の観客運動をめぐって」『美学』第267号など。

宇野文夫 (神戸学院大学教授)

専門は作曲、音楽評論。前衛音楽、実験音楽の影響下に作曲を始めるが、現在は抽象表現主義的な作風となる。自主企画〈音楽の可能性〉コンサート・シリーズを主催している。評論ではクラシック音楽の演奏論、作品論、作曲家論を月刊『音楽現代』誌などに執筆。録音CDに『耳と眼で～宇野文夫ピアノ作品集』(2025年)がある。

赤井敏夫 (神戸学院大学教授)

専門は映像学(インド映画)と近代オカルティズム(神智学)。著書に*Esotericism, Mysticism and the Politics of Transcendence in Modern Asia*, Anthem Press, 2025や*Empire, Religion, and Identity: Modern South Asia and the Global Circulation of Ideas*, Brill, 2024など共著多数。論文に"Reframing "Pan-Indian Cinema": Language, Capital, and Cinematic narration in Contemporary India," *Humanities & Sciences*, No 59 (2026)など。

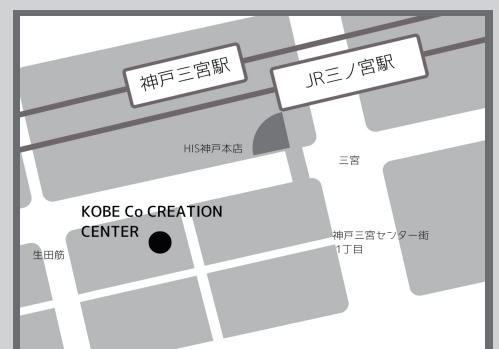
水谷 勇 (神戸学院大学教授)

専門は教育学・教育方法学(アメリカ合衆国教育史)。論文に「デューイの民主主義概念の今日的意義」『神戸学院大学人文学部紀要』第43号、「教育概念の再定義再考」『神戸学院大学生徒指導研究』第4号、「教育方法研究と教師の“脱技能化”—M.W.Appleの批判的教育研究の提起するもの—」『日本デューイ学会紀要』第36号など。

アクセス情報

KOBE Co CREATION CENTER ROOM (A・B)

650-0221 兵庫県神戸市中央区三宮町1丁目9-1 センタープラザ 9F
JR三ノ宮駅より徒歩で約8分。阪急電鉄、神戸三宮駅より約4分。センタープラザ京町筋北側入口から、コンビニとパチンコ店を目印に建物に入って下さい。階段付近で右折し、CENTER PLAZAに入ります。道なりに約30メートル進んで下さい。右手側にセンタープラザのエレベーターホールがあります。



お問い合わせ先: sh-tanaka@human.kobegakuin.ac.jp (田中晋平)